

市長記者会見記録

日時：2022年1月4日（火）14時00分～14時11分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：令和4年の年頭にあたって
市政一般

<内容>

<令和4年の年頭にあたって>

【司会】 ただいまから定例市長記者会見を始めます。

初めに、令和4年の年頭に当たりまして、福田市長から御挨拶をさせていただきます。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 それでは、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

残念ながら今年もコロナから始まってしまったという感じではありますが、今年も市民の皆さんに冷静に行動していただけるように、正確な情報をこういった記者会見の場を通じて、しっかりと情報発信に努めてまいりたいと思いますので、記者の皆様方にも御協力をよろしくお願いいたしますと存じます。

私から挨拶は以上でございます。よろしくお願いいたします。

<市政一般>

【司会】 それでは、市政一般も含めまして、質疑応答に入らせていただきます。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

<新型コロナウイルスについて>

【毎日（幹事社）】 それでは、幹事社、毎日新聞社です。よろしくお願いいたします。今年もまたよろしくお願いいたします。

【市長】 よろしく申し上げます。

【毎日（幹事社）】 今、コロナの話が出ましたけど、落ち着いているような感じでしたけど、今日あたりは何か多そうな感じ、10人を超えてくるという感じになると思いますけれども、今の現状と、いつまでも社会を停滞させるわけにはいかないというところもありますので、今後の対策について、どういうふうにお考えなのか、その2点をお伺いします。

【市長】 やはりこのオミクロン株の性質というものを、しっかり見極めていかなく
てはいけないんだろうと思いますけれども、少しずつ増えてきているなという感じは
見えていますので、気が緩まないようにしながら、これまでの普通の感染対策をしっ
かり行っていただくことが何よりも重要なのではないかなと思います。

年末年始、非常にみんなで、特に年始になって、新年会だとか、いろんなことがあ
ると思いますが、気を付けていただいて、日常生活を取り戻していくと。この日常を
ずっと続けるためにも、普通の感染対策をしっかりやっていただくということが、こ
れからも大事なかなと思っています。

【毎日（幹事社）】 市の政策としましては、コロナ禍、その以後をにらんで、どんな
対策を、経済的な面も含めてお考えでしょうか。

【市長】 感染状況を見ながらだと思います。こうやって徐々に、年末もそうでした
けれども、コロナ前に飲食店が戻ったかという、そんなことは全くないんですけれ
ども、徐々に戻りつつあるということの日常を少しずつ継続できるようにしていくこ
とというのが大事なかなと思っています。ですから、これがまた大きく感染が拡大して、
様々なことが難しくなれば、またそれに臨機応変に対応していくという形になろうか
と思いますけれども、今の現時点で何か新しいものを打ち出すということではありま
せん。

《市長3期目における政策について》

【毎日（幹事社）】 それで、市長は今年の市長選で3期目に入りました。3期目とい
うと、世間一般では、よく仕上げの年とかいう、期だというようなことも言われるこ
ともありますけれども、3期目に入って、新しい年を迎えるに当たって、今年はどう
いう政策を中心に推し進めていきたいとか、そういうのはありますでしょうか。

【市長】 むしろ、私の感覚からいうと、締めくくりというか、これからは挑戦の年
というような思いであります。

というのは、いろんなところでお答えしておりますけれども、臨海部の土地利用の
話、土地利用転換の話でありますとか、脱炭素社会への取組ですとかというのは様々
含まれますけれども、エネルギー会社の立ち上げの準備だとか、プラスチックのリサ
イクル、循環の社会だとかという、そういう新しいものに挑戦していくことになるの
で、そういった意味では、より丁寧に市民の皆さんに協力をいただくための発信とい
うのが必要になってくると思いますので、その辺りは力を入れていきたいと思ってお
ります。

【毎日（幹事社）】 市政というのは積み重ねなので、どれということはないでしょう

けれども、我々が見ている目立つようなのは、やっぱりエネルギー会社辺りが最初の大きな仕事になるのでしょうか。

【市長】 それはもう本当に、でも一部だと思っています。これが大きいかというと、それは市政のごく本当のパーツでしかないので、重要な政策であることは間違いありませんが、ほんの一部だと思っています。

何が大きいかというと、まずはコロナ対策はじめ、しっかりと日常というか、今日も言ったんですけれども、グリーンリカバリーじゃないですけれども、コロナ前よりもいい形に転換していくための取組というものをもろもろしていかななくちゃいけないなと思っています。

【日経（幹事社）】 幹事社の日本経済新聞です。今年もよろしく願いいたします。

【市長】 よろしく願いします。

【日経（幹事社）】 今、市長おっしゃっていたように、今年はマニフェストを着々と進めていく年になるかと思うんですが、その前提になる特別自治市の実現ということなんですが、これ、指定都市市長会含めて、その辺のロードマップというか、今後の見通しというか、節目というか、その辺の道のりをお聞かせ願えないでしょうか。

【市長】 新しく政令指定都市の会長も替わりますし、改めて新しい体制で特別自治市というようなものを目指すというような形になるので、私としても指定都市市長会の皆さんと一緒に取組を進めたいと思っていますし、これからどういう形になるか分かりませんが、前にも申し上げたとおり、私は指定都市市長会で経済担当ということなので、そういう意味では、経済界の皆さんにも、しっかりとこの重要性を訴えていくということもやっていきたいと思っておりますし、当然、議会の中でも勉強会が始まっていますし、そういう意味では議会との協調と、それから、県内でいえば、横浜、相模原といった、同じ政令指定都市との連携、それから当然、政令指定都市選出の国会議員との連携が非常に重要になってくると思いますし、市内選出の国会議員の皆様にも非常によく理解をいただいていると思いますので、それをどうやって大きく国の法律改正に結び付けていくかというのは、これはまたハードル高い話だと思いますので、そこを確実に進めていく上で、私なりのしっかりとした役割を果たしていきたいという、そういう強い決意を持っているところです。

【日経（幹事社）】 はい。分かりました。ありがとうございます。

【産経（幹事社）】 幹事社の産経新聞です。質問は特にございませんが、今年もよろしく願いいたします。

【市長】 よろしく願いします。

【毎日（幹事社）】 それでは、各社、どうぞ。

《市長のツイッターについて》

【東京】 すいません、東京新聞です。今年もよろしく願いいたします。

【市長】 お願いします。

【東京】 市長、新年からツイッターを始められたのかなと思ったんですけど、ちょっとどうしようかなと思われていた時期もあったのかなと思うんですけども、改めて、どういうことを発信していきたいとか、どんな思いがあってやろうと思われたかって伺えますか。

【市長】 結構いろんな人からツイッターやれやれ言われていたんです。ものすごく能動的なというよりも、皆さんから、やっぱりやるべきなんじゃないかと、もう少しタイムリーな発信をしてほしいということも言われることも多々あったので、僕自身、そんなに瞬発力よくやるようなものというのはあまり得意なほうではないと自分では思っているんですが、それでも、先ほど申し上げたように、正しい情報を正確に自分の言葉で伝えていくというのは、特にこういうコロナ禍みたいな非常時にあって、市は市でやっておりますけれども、そこと重ならない形での発信というのを少しやっていこうという、自らの挑戦みたいなのところもありますので、やっていきたいなと思っています。

【東京】 これまでも比較的、コロナの情報などについては動画で流されたり、そういう市の公式なチャンネルを使ってやってこられたと思うんですけども、今回、例えば、どういうことができるのかなという。スポーツイベントとか、新年もあったので、そういうものは確かにそうなのかなと思うんですけども。

【市長】 そうですね。もう少しフランク。市の行政からの発信というよりも、もう少し私自身のフランクな形。個人のアカウントですので、そういうところに挑戦できればいいかなとは思っていますが、ちょっと模索中という感じですかね。

やるのはあれなんですけど、同時に、気を付けてねとかいう忠告もいろいろ言われているので、やりながら考えようかなと思っています。

【東京】 分かりました。ありがとうございます。

【毎日（幹事社）】 あとは特にはないでしょうか。

【司会】 よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして終了いたします。ありがとうございました。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

- ・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312